

# 職員研修全体計画

## 1 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善  
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」による学習者主体の授業をめざして～

## 2 主題設定の理由

### (1) 今日の課題から

今日、生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、技術の進歩の加速によって、世界は社会、経済、環境など様々な分野において前例のない変化に直面している。また今を生きる子どもたちやこれから誕生する子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されている。そのため、これからの時代を生きる子どもたちには、こうした変化を乗り越え、何が重要かを主体的に考え、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら新たな価値の創造に挑み、未来を切り拓く力を身に付けることが重要である。

令和3年1月26日に出された中央教育審議会答申では、「令和の日本型学校教育」の姿として、「個別最適な学び」「協働的な学び」「主体的・対話的で深い学び」「ICTの活用」の4つを提示している。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の2つを一体的に充実させることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることができる。そして「ICTの活用」については、GIGAスクール構想による新たなICT環境を活用するとともに、少人数によるきめ細やかな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を充実させていくことが重要であると記されている。

これらを踏まえて、本校では、これまでも目指してきた主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善について再度見直しを行い、改善していく必要性を感じ、主題を「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善、副主題を「個別最適な学び」と「協働的な学び」による学習者主体の授業をめざして」と設定した。

### (2) 本校におけるこれまでの研究及び本校の実態から

本校においては、昨年度、これまでの研究を引き継ぐ形で、児童生徒の実態や教育的課題から「主体的・対話的で深い学びの授業改善」について研究を進めてきた。その中で、次のような課題が明らかになった。

#### 【本校の課題】

- 学習と生活を関連付けて考えたり、新たな課題を見付け、自ら進んで学ぼうとしたりすることが難しい。
- 対話の経験が少なく、充実した対話活動を行うことができず、自分の考えを広げたり深めたり、表現したりすることが難しい。

#### 【本校の実態から求められる力】

- 中学校卒業と同時に島立ちし親元を離れ生活するなかで、新たな環境でも適応していくことができる資質・能力が求められる。
- 毎年、山海留学生によって学校の雰囲気に変化するなかで、多様な人々と協働しながら自己の考えを深め、豊かな人生を切り拓いていくことが求められる。

そこで、本年度は、本校の教育目標である「豊かな心を持ち、深く学び、創意工夫しながらたくましく生きる児童生徒の育成 ～荒波を越え 独り立ちする教育～」の下、児童生徒の実態や学年、教科の特性を活かした「主体的・対話的で深い学び」の実現とともに、児童生徒が新たな環境でも適応し、豊かな人生を切り開き、ジリツした学習者となるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化をめざした授業改善について研究を行うこととした。